

地域の中で育てよう「うみのこ」

敦賀市立松原小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	12回(のべ) 16日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	23人
授業ボランティア(含:低ボラ)	53人
登下校支援ボランティア	58人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ ～私たちのふるさと松原の自然と歴史～

具体的活動内容

《地域の教育資源や地域人材を活用してふるさとを愛する心を育てる》

1 気比の松原クリーンアップ大作戦(全学年)

5月20日(金)、全校児童が縦割り班に分かれて、気比の松原や松原海岸の清掃活動を行った。松林の中にゴミが多かったり、海岸ならではのゴミが漂着していたりすることに気付くことで、ふるさとの松原や海岸を美しく保とうという意欲に繋がった。

2 気比の松原の植物を調べよう(3年生)

11月1日(火)・2日(水)、地域にお住まいのナチュラルリストを講師に迎え、気比の松原に自生している様々な植物について学んだ。2日間に分けてクラスごとに実施したため、きめ細かい指導により、子どもたちの松原の自然への興味関心が高まった。

3 気比の松原で松の植樹をしよう(4年生)

11月29日(火)「気比の松原を愛する会」会長をはじめ、愛する会の会員の方々の協力を得て、松の植樹という貴重な体験をすることができた。子どもたちは、松の苗木を一人一本ずつ丁寧に植樹することを通して、松原の歴史の重みに気付くとともに、日本三大松原の一つが自分たちのふるさとに存在することに誇りを感じることができた。



4 水戸烈士について学ぼう(6年生)

10月7日(金)、「水戸烈士遺徳顕彰会」会長を講師に迎え、敦賀市ゆかりの水戸烈士についてお話をお聞きした。今年も、実際に近くの松原神社へ出かけての体験学習を実施した。予め、準備していただいた学習資料で事前学習を行っていたため、幕末から近代に至る歴史の中で敦賀市が果たしてきた役割を、より深く理解することができた。

成果と課題

自分の目で見て、手で触って肌で感じたことや美しいと感じたことを、俳句や日記、新聞作りに生かすことで、自分の思いを自分の言葉で表現することができた。また、昨年度課題であった「自然や伝統文化に対する興味関心」が低いことについては、今年度の取組を通して意識が高まったことが、年度末に行った児童へのアンケートの結果から明らかになった。

一方で、興味関心が高くない児童が依然として多いという現状もある。今後も、児童の思いや興味を大切にしたい体験活動を重視するなど工夫することで、ふるさとを愛し、よりよい地域にしていこうという意識を育てていきたい。

